

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書


- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京都府立北嵯峨高等学校 】

<スポーツ庁テーマ>

1実践テーマ	【 I III V 】
2実施対象者	全校生徒 866名 スポーツ科学コース生徒 2年42名・3年41名
3展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (保健体育科) ② 行事名 () ③ その他 (総合的な学習の時間) (総合的な探求の時間) (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4目 標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> •今まで取り組んできたスポーツを中心に、そのスポーツとの関わりの中で自分がどのように成長したかをふり返り、今後のスポーツとの関わり方を明確にし、豊かなスポーツライフを継続するきっかけとする。 •来年に控えたオリンピック、パラリンピック東京大会への興味関心を深める。
5取組内容	<ul style="list-style-type: none"> •自分をふり返る「自分史」の作成とプレゼンテーション (10月中旬～1月/1月発表) 学校設定科目「フィジカルトレーニング」(PT)の授業を活用 (3年8組スポーツ科学コース対象) これまで行ってきたスポーツの歴史、スポーツとの出会い、そのスポーツと関わってどのように成長したかを調べ発表する。 •自分が取り組んできたスポーツとオリンピックについて調べ発表する。 (2年7組スポーツ科学コース対象) •オリンピック、パラリンピックについて広報新聞製作とプレゼンテーション (12月～1月)

	
6主な成果	<ul style="list-style-type: none"> • これまで自分が取り組んできたスポーツを通じて、そのスポーツの歴史や競技特性を知り、自分がどのように成長したのかをふり返り、今後豊かなスポーツライフを継続するためのビジョンを形成する機会となった。また、後輩を前にして発表する機会を設け、表現能力の向上を図った。 • パラリンピックについて調べることで、障がいがあっても様々な工夫で乗り越え、様々なことに挑戦する姿を見て感動し、勇気づけられた。オリンピックだけではなく、パラリンピックにも注目して応援したいとの意見が寄せられた。 • 障がいのある人の困難さを知り、障がいのある人とよりよい共生社会を実現させるために何ができるのかを気付くきっかけとなった。
7実践において工夫した点(事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> • 「自分史」作成は、本校の図書室の書籍やコンピューター検索で調べ、冊子にまとめ発表時に参加者全員配付した。 • 共生社会について事前学習を行った。 • 本校で実施したオリパラ事業は、学校HPなどで紹介し、地域や家庭にも広報を行った。
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> • PC操作の得手不得手があり、PC操作の指導に時間が取られた。 • 本校の事業は、対象生徒がスポーツ科学コースの生徒と限られており、オリンピック・パラリンピックを推進していくためには全校生徒に浸透できるような事業を考える必要がある。対象生徒を広げていきたい。 • 本事業を年度当初に日程調整や計画ができれば、さらに事業を充実させることができるのではないかと。
9来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> • オリンピック、パラリンピックが身近に感じられるよう、事業内容を再考しながら、継続した事業を展開していく。